

## 平成 15 年度第 2 回日本スポーツ少年団委員総会議事録

日 時 平成 16 年 3 月 10 日 (水) 13 時 30 分 ~ 14 時 10 分

場 所 財団法人日本体育協会 講堂

出席者 長沼本部長、佐藤、田中、吉田の各副本部長

< 常任委員 > 折原

< 委 員 > 島中 (北海道)、國安 (青森)、原田 (山形)、佐藤 (福島)、  
萩野谷 (茨城)、山野井 (栃木)、内田 (群馬)、藤沼 (埼玉)、  
青木 (千葉)、梶山 (東京)、碓井 (神奈川)、水上 (山梨)、  
廣川 (新潟)、吉田 (富山)、石島 (石川)、山口 (福井)、  
田宮 (静岡)、松井 (滋賀)、田中 (京都)、神前 (和歌山)、  
織奥 (島根)、猪木 (岡山)、吉長 (広島)、久保 (愛媛)、  
高橋 (高知)、厨 (福岡)、中島 (佐賀)、吉居 (長崎)、  
安東 (大分)、中村 (宮崎)、国吉 (沖縄)

< 委 任 > 菅原、村田、片山、山岸、中原、小杉、枝川、山崎の各常任委員  
三上 (宮城)、森 (愛知)、松井 (三重)、福田 (岐阜)、  
岩崎 (大阪)、佐藤 (兵庫)、定常 (鳥取)、三谷 (徳島)、  
玉川 (鹿児島)

< 代理出席 > 菊池 (岩手)、高橋 (秋田)、野田 (長野)、平山 (奈良)、  
藤沢 (香川)、武井 (熊本)

< 事 務 局 > 岡崎局長、古賀次長、小寺部長、川島課長、向佐課長  
他青少年スポーツ部員

事務局より、設置規程第 15 条にもとづく会議成立の報告を行い開会。

長沼本部長の挨拶の後、同本部長を議長とし議事に入った。

### < 議 案 >

#### 1. 平成 16 年度日本スポーツ少年団事業計画・同予算 (案) について

事務局より資料にもとづき説明。

平成 16 年度の事業計画案については、昨年 6 月開催の第 1 回委員総会で承認を得、  
予算の編成については本部長に一任されていたが、その後、ブロック会議で意見を伺い、  
さらに各専門部会で検討するとともに、日本体育協会での全体的な調整に伴い再編成し  
た事業計画・予算(案)についてブロック会議以降の変更点を中心に説明。協議の結果、  
原案通りこれを承認。

なお、予算(案)については、各種補助金・助成金の決定が 4 月以降になることから、

決定次第実行予算を編成することとなるが、実行予算の編成については本部長に一任願  
い、6月開催の常任委員会・委員総会に報告する旨を諮り、これを承認。

## 2. 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会開催地固定化について

事務局より、資料に基づき平成15年11月10日付で各都道府県宛に行った軟式野球  
交流大会固定化に関するアンケート調査結果について説明。

ブロック会議において固定化について概ね了承を得られたこと、去る3月1日開催の  
活動開発部会、昨日開催の常任委員会において他の競技別交流大会のスポンサー獲得に  
ついて今後充分検討していくとともに、軟式野球交流大会については理念を守ることを  
最優先に検討、実施していくこととした旨説明。平成18年度から北海道で固定開催す  
ることを諮り、これを承認。

なお、松井委員より、全国大会を開催することにより指導の過熱化や勝利至上主義を  
煽る危険性があることから、日本スポーツ少年団は指導者に対して全国大会開催の主旨  
に誤解がないように伝える必要があるのではないかとの意見があった。

### < 報告事項 >

事務局より、資料に基づき次の事項について報告。

#### 1. 平成18年度全国スポーツ少年大会および競技別交流大会の開催地について

東北ブロックが担当する第44回全国スポーツ少年大会の開催地および西地区が担当する  
競技別交流大会の開催地について、昨日開催の第4回常任委員会で下記の通り承認され  
た。

- ・ 第44回スポーツ少年大会:山形県
- ・ 第29回剣道交流大会:岡山県
- ・ 第4回バレーボール交流大会:長崎県

軟式野球交流大会については、議案2で承認されたとおり、北海道で開催。

なお、最終的な決定については、当該4道県の体育協会等関係機関の承認を得た時点と  
なる。

#### 2. その他

##### ① 平成16年度子どもスポーツフェスティバルの実施について

平成16年度の子どものスポーツフェスティバルの開催地について、実施希望調査を行い、実  
施市区町村選考基準に基づき選考・協議した結果、22希望地区より15地区を内定した旨報  
告。

##### スポーツドリンク推奨品の追加について

日本体育協会国民スポーツ推進キャンペーンのオフィシャルスポンサーで、スポーツ  
少年団特別協賛事業の協賛社である大塚製薬より、健康スポーツドリンク「アミノバリ  
ュー」を推奨品に加えてほしい旨要望があり、熱中症予防の啓発、スポーツ活動サポー

ト等の観点から検討した結果、従来推奨品としていた「ポカリスエット」「エネルゲン」に加え、日本体育協会及びスポーツ少年団の推奨品とすることを報告。

#### 平成 15 年度の常任委員会・委員総会会議日程について

配布資料の通り会議開催日程を報告。

以上、これらを了承。

#### その他

- ・ 平山委員より認定員の研修導入にむけた進捗状況について質問があり、指導者協議会からの実施に向けての働きかけに対して、指導育成部会で検討中であることを説明。現状としては、事務的な負担を考慮すると義務化は難しいが指導者協議会が運営を全面的に行えば可能と考えられるため、指導者協議会と事務局の役割分担のモデル案を作成する予定であることを説明。また吉長委員より、「広島市では3年に1回研修を受講する方式で再研修を行うことが決まった」との報告を受けた。また松井委員より平成 16 年 4 月に認定員の研修の具体案を示すかどうかについて質問があり、現時点では常任委員会において具体的に検討できる状況ではなく、第 8 次育成 5 か年計画の中に盛り込んでスタートさせる予定である旨回答。
- ・ 石島委員より全国大会等の引率指導者全員が有資格者となるべきであると考えているので、資格保有率の向上に関する検討をして欲しい旨要望が出され、これに対して長沼本部長より、今後常任委員会等で検討する旨回答。

以上、協議し 14 時 10 分閉会。